

鉈屋町 町内会だより

十文字稲荷神社の 新しい御神木

鉈屋町十文字にある十文字稲荷神社は、宝永六年(1709)に建立されたと伝えられます。

十文字稲荷神社 由緒

一、御祭神
十文字稲荷大明神(宇迦之御魂神)「ウカノミタマノカミ」は、五穀をはじめ、すべての食物や薬草のことを司る神であり、「稲」が約音便により「イナリ」となったが、その神像が稲を荷っているところから「稲荷」の字を充てたとされている。

一、由緒
盛岡藩主南部家古文書「御領社堂」によると
東中野十文字
稲荷社別当水壽院
本地十一面観音 神号倉稲魂命奉祝候
寶永六年九月 田所佐助と申す者、
社務屋敷之内 建立仕候
と記録があり、江戸中期の寶永六年(一七〇九)秋、修験寺「鐘峰山水壽院」の境内に、田所佐助によって社堂が建立され、稲荷大明神を勧請したことがわかる。

創建者の田所氏は東中野在の豪農(大地主)で信仰に厚い人物であったと伝えられる。

第十一代藩主南部利敬公は、敬神の念厚く、領内社寺の再興を図り、特に五穀豊饒・商売繁盛を導く稲荷信仰を勧奨したと言われ、各地に稲荷社が創建された。

一説によれば、藩主利敬公の時代、四十八社の稲荷社を定め、第一番社が盛岡城内に祀られた神山稲荷大明神で、十文字稲荷大明神社は、その十八番社といわれる。

一、神佛分令
古来、神社と寺院は同じ屋敷に建立された。神社の祭典、又寺院の行事にどうしても差支えがあったために、明治三年に布告が出されて、神社と寺院は独立された。

十文字稲荷大明神は「大明」の文字を別除され十文字稲荷神社となった。(ただし、現在でも大明神社と呼ばれる事あり)

一、祭典
春 初午祭 旧暦二月初五日 秋 初九日祭 旧暦九月九日
中午祭 日替 中午日 中九日祭 旧暦九月十九日

その十文字稲荷神社の2本の御神木、社殿の左側にあった梅と、鳥居の後ろにあった松は、倒木の恐れがあったため、上部

不定期発行
 発行者
 鉈屋町町内会
 編集/文責/撮影
 桂 汎用工房
 脇田 桂一郎
 印刷
 小松総合印刷
 株式会社

が伐採されました。正確には、どのくらいの樹齢かわかりませんが、かなりの年月が経っていると思われるます。



そして新たな御神木が植えられました。社殿と稲荷様の間に、左に梅、右に松が配置されています。まだ小さな木ですが、4月の半ばには梅が花を咲かせ、春の訪れを告げていました。



令和4年度 盛岡市消防演習

春の恒例行事である、盛岡市消防演習が4月29日に行われました。今年はこの橋河畔での公開が3年ぶりに行われることもあり、第2分団の写真係として、第1会場、第2会場取材してきました。



第1会場の下小路中学校に、朝早くから消防団員が集合し、

本番前のリハーサルを行います。そして午前9時から開始。統監らによる観閲が行われます。また避難所開設訓練や、災害対応訓練の成果も披露されました。部隊は第2会場へ移動。消防ポンプ車と団員が街中を行進します。



そして中津川の第2会場に着いたのですが、周辺はすごい人出です。「人混み」というものを久々に体験しました。

第2会場では団員による「まとい振り」が行われたのですが、親子連れが多くて近づくことができませんでした。

そして消防ポンプ車による二斉放水。なんとか撮影位置を確保しました。左から2台めが第2分団です。

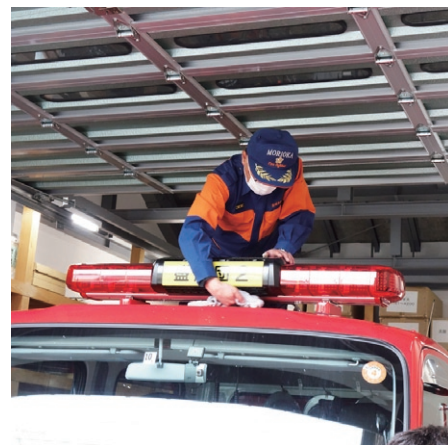


演習終了後も作業はあり、使用したホースや車体の清掃などに、団員は余念がありません。



単にきれいにするとか、後片付け、というだけではなく「次に備える」といった感じが伝わってきます。

参加された皆様、お疲れ様でした。



もりおか町家物語館の 新人事

今年は官公庁や企業でも、数年ぶりに人事異動が行われたところが多いと聞きます。鉾屋町にある「もりおか町家物語館」でも動きがあり、新たな館長と、大正蔵の責任者から挨拶をいただきましたので、ご紹介いたします。

もりおか町家物語館 館長
盛合なおと様



鉾屋町では町内会だよりを定期的に刊行されるなど、地域の特色を活かした魅力溢れる町づくりに取組まれておりますこと心から敬意を表します。

もりおか町家物語館も地域コミュニティの拠点として、皆様から愛され親しまれる施設を目指し、皆様と共に歩みを進めて参ります。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

大正蔵ショップ&カフェ支配人
東海林千秋様



姑(88)は旧川原町の出身。大慈寺小学校の卒業生です。隣の家の宮野小提灯に可愛がられたといつも申しております(笑)。この町の人達は他所から来た旅人や商人たちを受け入れ、古いことを大事にしながらも常に新しい町へと様変わりしてきた町だとも。

改めて鉾屋町を歩いてみると藩政時代の旅人気分になれる坂道や旧河道があり、地形と町並みが一体となって町全体でテーマパークの様相を呈することができますのが魅力と感じます。この町を訪れる方に良い思い出が残るよう大正蔵からお手伝いして参ります。よろしくお願いいたします。

フララフの隣の花屋さん
M STYLE FLOWER
コーヒー豆のフララフさんの隣に、MIKIさんが営む花屋、



M STYLE FLOWER が4月5日に開店しました。
原種に近いスイートピーなど、普段目にしない花も多く、不思議な魅力のあるお店です。



NORA&Remと Lamb's花仕事屋



NORA&Remさんの店では、4月3日から10日にかけて、Lamb's花仕事屋さんにより、店のあちこちに様々な花が飾られました。



こちらも見かけない花が多かったのですが、元々洒落たものが溢れる店の中に溶け込んでいます。



常居じょいに大きく飾られた花へ、天窓から光が落ちる様子は、まるで中庭のようでした。

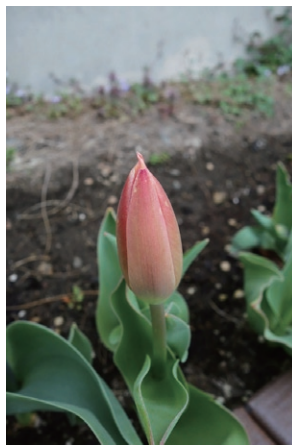


編集後記

チューリップ日記最終回

4月11日

天気が続き、蕾がもう咲きそうなままでになりました。



4月12日朝

一番よく育っていた、赤の花が一斉に開きました。



4月19日

その他の色も開き、5色が揃いました。色によって育ち方に差がある感じでした。

この後、4月末まで花が持ちました。



今年は桜もいい感じに咲いたので、あちこち桜の写真を撮りに歩きました。

意外だったのが、鉾屋町内に桜の木が少ないことで、鉾屋町の境界沿い外側に、見事な桜が点在していることでした。それだけ昔から家屋が密集していた、ということなのでしょう。(桂)

